

部局名	生涯学習部	所属名	生涯学習振興課	所属長名	多田 雅子	電 話	481-0309
-----	-------	-----	---------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4218	事務事業名称	総合生涯学習プラザ使用料還付金						短縮コード	経常		臨時	4218
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	12	諸費	
区 分	☐ 自治事務 ☐ 法定受託事務			根拠法令等		八千代市財務規則，八千代市総合生涯学習プラザの設置及び管理に関する条例，八千代市総合生涯学習プラザの設置及び管理に関する条例施行規則							
☒ その他													
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
総合生涯学習プラザの使用料を過年度に徴収し，利用者の責めに帰することができない事由により利用できなかったことにより，還付する納付者が発生することが考えられるため。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱（章）	02	第2章教育文化都市をめざして						
事業区分「その他」のため評価対象外。					大項目（節）	02	第2節生涯学習						
					中 項 目	01	1. 生涯学習						
					小 項 目	03	(3)市民の学びの環境整備						
					細 項 目	01	①生涯学習情報の充実						
02	②生涯学習関係施設の整備・充実												
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	総合生涯学習プラザの使用料を過年度に徴収し，震災によって使用できなくなったことにより，還付が発生する納付者。							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： 総合生涯学習プラザの使用ができなくなり，過年度に徴収した使用料の還付手続を行った。							
	※平成24年度に計画していること： 過年度に徴収した使用料の還付が発生した場合，その手続を行う。							
意図 （何を狙っているのか）	過年度に徴収した使用料の過誤納金を返還する。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 2 年度	2 3 年度		2 4 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	事業区分「その他」のため評価対象外		なし				
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	事業区分「その他」のため評価対象外		なし				
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	事業区分「その他」のため評価対象外		なし				
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	4218	事務事業名称	総合生涯学習プラザ使用料還付金			所属名	生涯学習振興課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。			☐ 改革・改善して継続		事業区分「その他」のため評価対象外	
				☐ 手法プロセスの改革・改善			
				☐ 事業規模の拡大・縮小			
				☐ 統合・役割見直し			
	☐ その他						
☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了							
☐ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			事業区分「その他」のため評価対象外
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☐	
			不 変	☐	☐	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
事業区分「その他」のため評価対象外。	

所属長コメント	事業区分「その他」のため評価対象外	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	事業区分「その他」のため評価対象外
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止・休止		
☐ 事業完了		
☐ 現状のまま継続		